

間接法を用いたシリコーン系 軟質裏装材による下顎総義歯の裏装

- 義歯の裏装の種類
- アクリル系とシリコーン系
- 適応症
- 保険適応材料
- 製作方法

軟質裏装材による義歯の裏装

義歯の裏装の種類

超高齢社会の現在、通常の硬質材料の義歯床では咀嚼時の疼痛を回避できない難症例が増加

適用する軟質裏装材に一定の厚みを確保する必要がある

間接法が適用

アクリル系とシリコーン系の比較

アクリル系は、経時的に粘弾性が変化し、徐々にその緩圧効果が失われる傾向があるが、シリコーン系は経時的な物性の変化が少なく、高い耐久性を示す。

シリコーン系が適用

適応症

下顎総義歯患者であり、硬質材料では咀嚼時の疼痛を回避できない症例で、下記のいずれかに該当する場合をいう

- 顎堤の高さ：第一大臼歯部の歯槽頂が頬側前庭よりも低い
- 顎堤の断面形態：平坦あるいは凹型である
- 粘膜の厚み：極めて薄い
- オーラルディスクキネジアがある

適応材料

平成28年5月1日現在、以下の4社の製品が保険適用となっている

- (株)ジーシー： リラインⅡシリーズ
- (株)トクヤマデンタル： ソフリライナー、ソフリライナータフ、
ソフリライナータフ スーパーソフト
- 白水貿易(株)： ムコプレン ソフト
- ネオ製薬工業(株)： エヴァタッチスーパー

製作方法

義歯床をトレーとして印象採得

ボクシング・石膏模型製作

ジグ上部に模型を付着
ジグ下部に咬合面コア製作

義歯粘膜面を約2mm
削除後、裏装材を填入

余剰裏装材の除去、重合

辺縁の修正、研磨

リライニングジグによる方法

床縁部をワックスで修正

フラスクに埋没

義歯粘膜面を約2mm
削除後、裏装材を填入

辺縁の修正、研磨

フラスク埋没による方法

リライニングジグによる方法・フラスク埋没による方法



粘膜調整後の義歯粘膜面



ボクシング

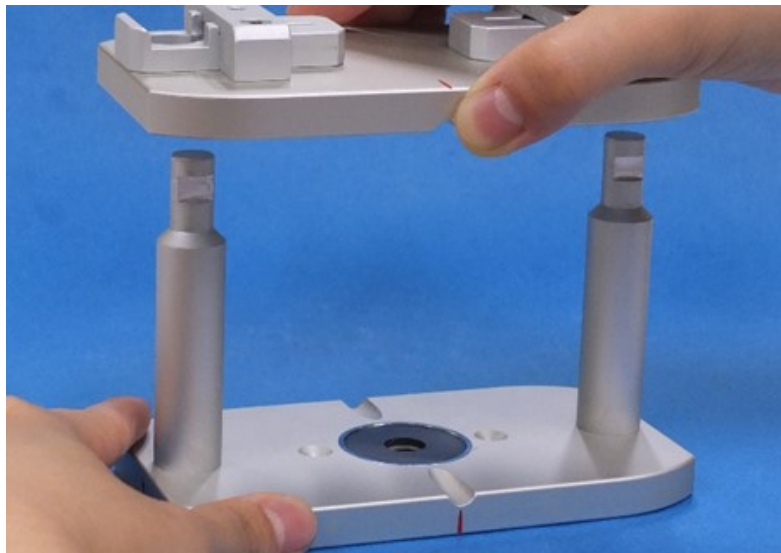


面あれを防ぐためシュールキャスト
スプレーを噴霧後、石膏を注入



模型を製作

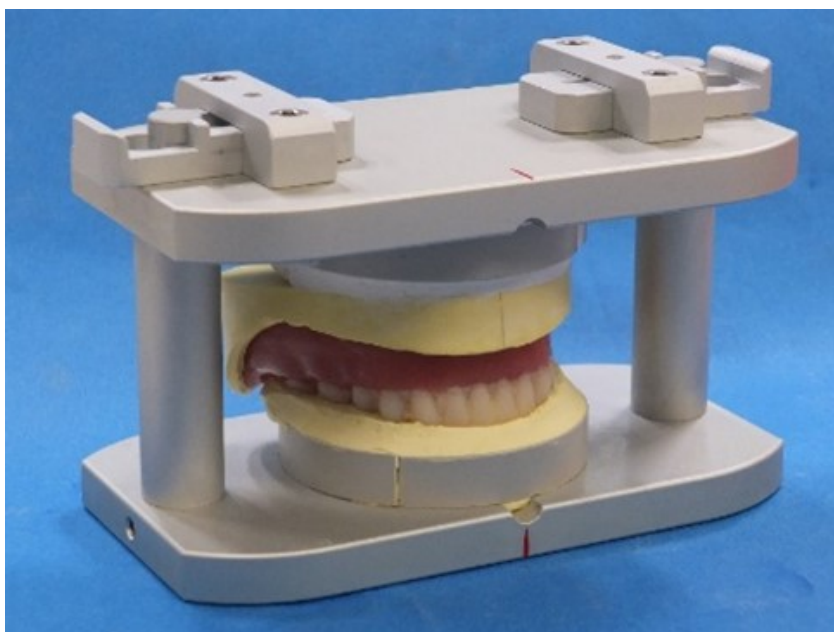
リライニングジグによる方法



リライニングジグ(上部と下部)



模型をジグ上部に付着する



咬合面コアの採得を行う



ジグを分離し、義歯を取り出す

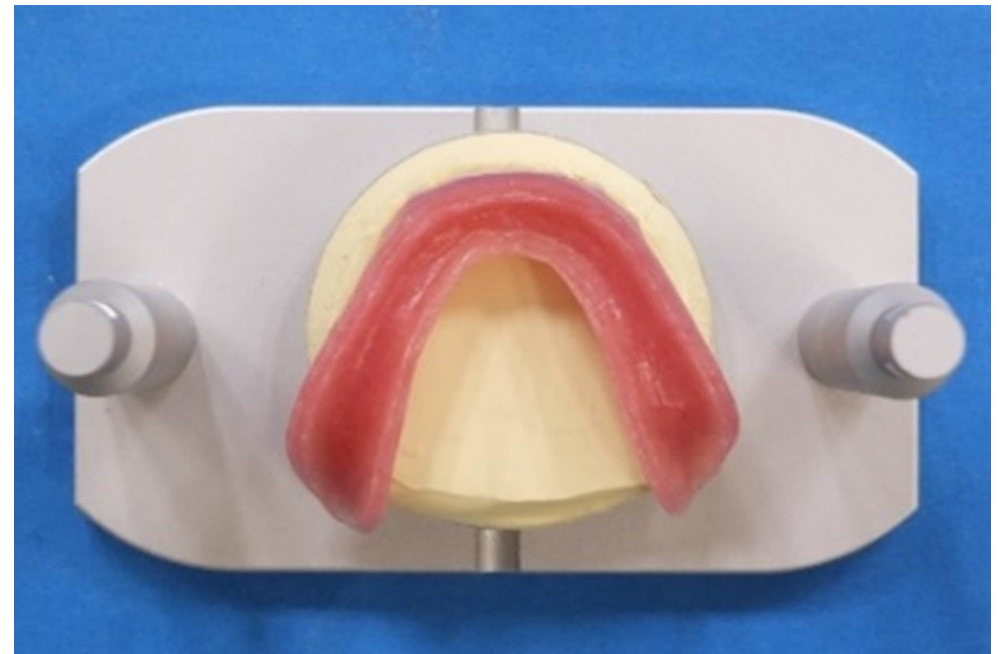
リライニンググジグによる方法



義歯床粘膜面のレジンを約2 mm削除して新鮮面を露出させる



プライマーを塗布



義歯を咬合面コアに戻す

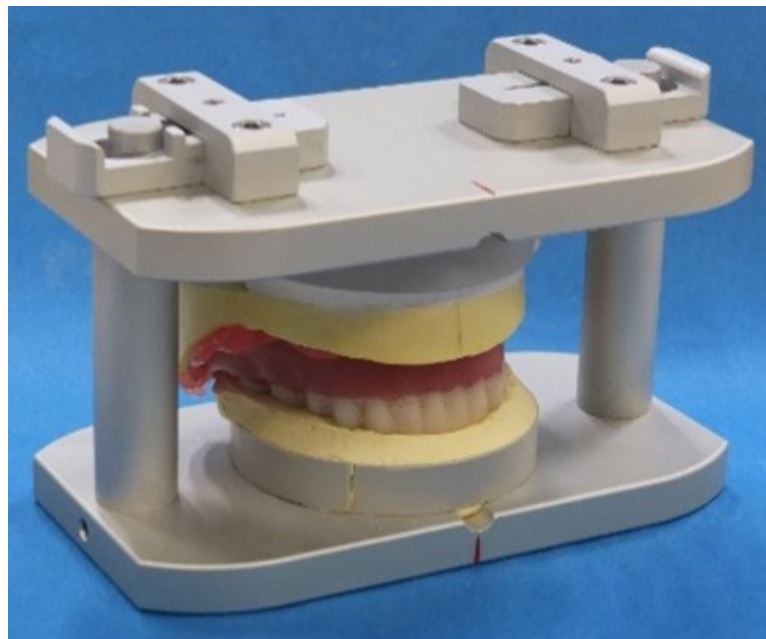
リライニングジグによる方法



模型に分離剤を塗布



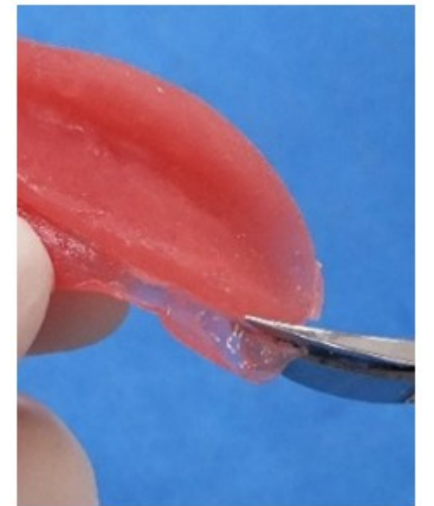
シリコーン系軟質裏装材を盛る



ジグを固定する



余剰の裏装材を除去する



フラスク埋没による方法



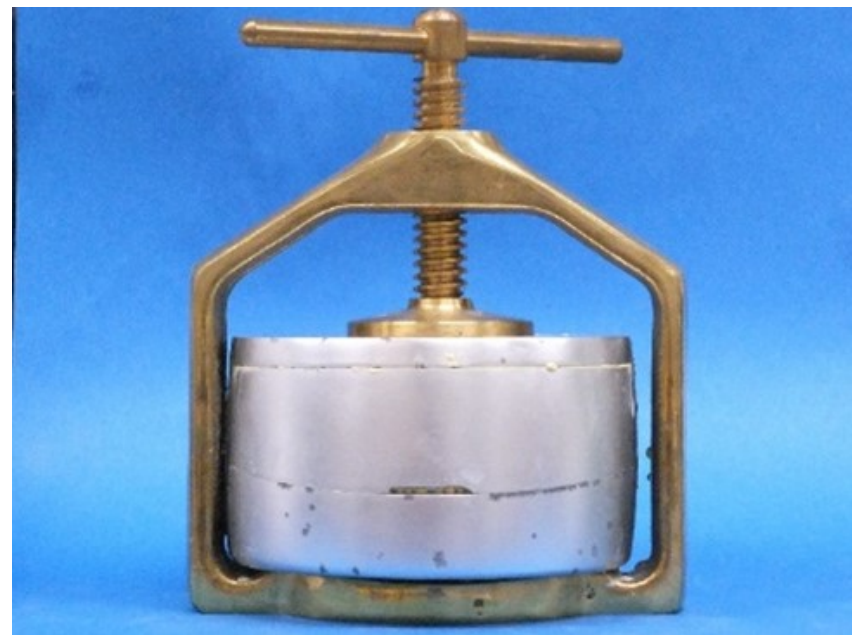
フラスク下冠に埋没



アンダーカット部をシリコンパテで覆う



模型に石膏分離剤を塗布



上蓋をしめ、クランプで固定

フラスク埋没による方法



フラスクを分離し、義歯を取り出す



義歯床粘膜面のレジン
を約2 mm削除して新鮮面を露出



プライマーを塗布

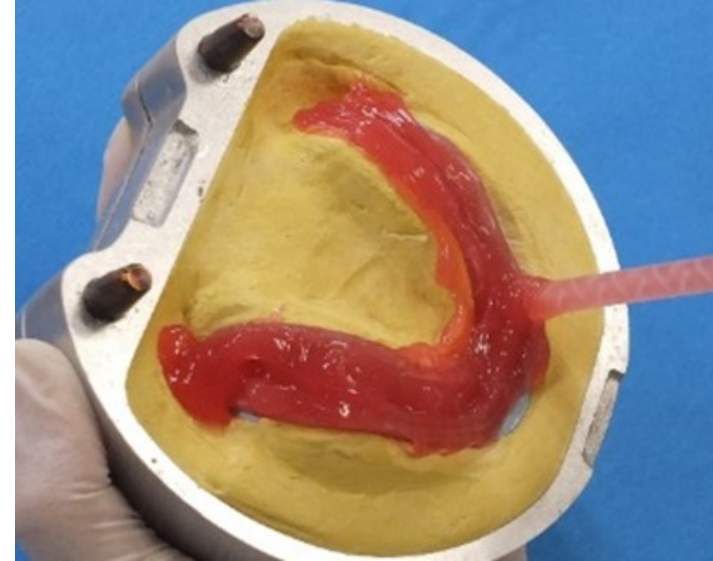


義歯を上冠に戻す

フラスク埋没による方法



模型に分離剤を塗布



シリコーン系軟質裏装材を盛る

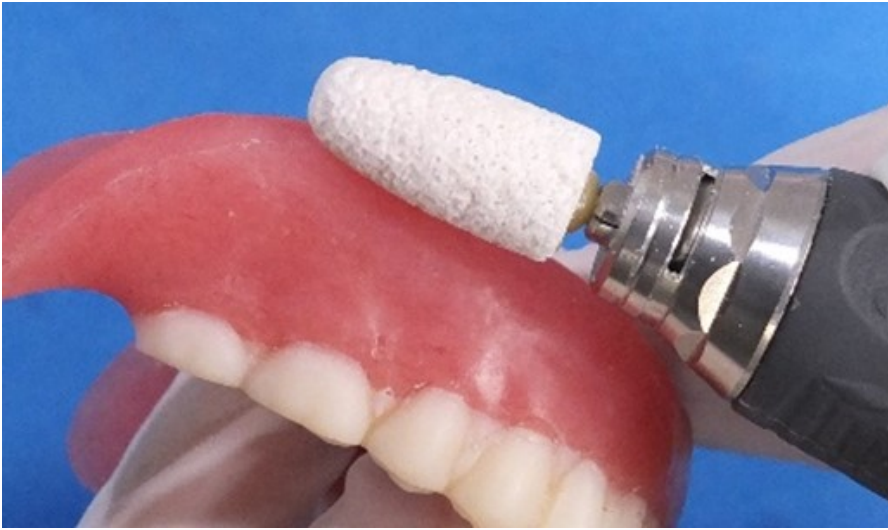


上下冠をクランプで固定



余剰の裏装材を除去する

リライニングジグによる方法・フラスク埋没による方法



形態修整とリリーフすべき部位の調整を行い、研磨する



全面裏装の完成した義歯粘膜面

形態修正および研磨時のポイントとホイールの回転方向はリライニング材からレジンの方向に回転させる。